



高知港三里地区国際物流ターミナル整備事業 の整備で地域の活力・防災力向上

現在 now

将来 future

インフラ

地域



平成
26
年度
東側岸壁供用開始

高知港海岸における地震・津波対策の方針

○高知市の中心部が浦戸湾奥部に位置するという地理的特性を踏まえ、3ラインでの対策による「三重防護」による対策を進める。



直轄海岸保全施設整備事業・
防波堤改良等を順次実施予定

高知県三里塚区の利用状況



高知県三里地区の防災拠点としての機能



高台企業用施設造成による災害対応強化

地震・津波発生時の役割

- ◆地震・津波発生時には、高知新港で働く人々や客船寄港時の乗客等の避難場所として活用
- ◆地震・津波発生後には、耐震強化岸壁と連携し、復旧・復興に向けた防災拠点として活用（企業と防災協定の締結前提）

整備イメージ

高知港三里地区の更なる利活用と
利便性向上・防災拠点としての機能確保

高知港三里地区国際物流ターミナルの整備に伴い、大水深の西側岸壁及び東側岸壁が供用開始し、大型貨物船だけでなく、大型クルーズ船も入港可能に

四国8の字ネットワーク

高知港海岸における地震・津波対策の取り組みとして、第一線防波堤を粘り強い構造へ補強することにより、発災後の高知港三里地区の港湾機能を確保

これらの取り組み等により、物流拠点として企業の産業活動を支えるとともに、災害時に耐震強化崖壁等を活用し緊急物資輸送や地域経済の復旧・復興を可能とする

なお、災害時は高知港三里地区で陸揚げした緊急物資を臨港道路経由で高知市中心部へ、更に高知自動車道経由 四国8の字ネットワークとの連携により、広域へ輸送

